地域公共交通とDXを融合させたホッピング型観光事業（広島県広島市）

国土交通省

事業実施主体

【共創プラットフォーム】
地域公共交通とDXを融合させたホッピング型観光事業
【実施主体】並木コンソーシアム
【共創パートナー】広島都心会議
紙屋町大手町未来会議
一般社団法人クレパス

地域課題

「原爆ドーム並びに平和祈念公園」という世界的な観光遺産を有する当該エリアは、国内外からの観光客が多数訪問するものの、その拠点性を活かした地域回遊型の観光政策が展開されていない。

実証事業の内容

コロナ後、増大する広島市内への観光客数の他エリア誘導や回遊を目論んでいる各地域やエリアの関係者並びに交通事業者等と集い、【DX×（地域公共交通＋新モビリティ）】の新たなサービスモデルの素案構築と、それを用いた啓発、勉強会、意見交換会、先進事例視察等を実施する。

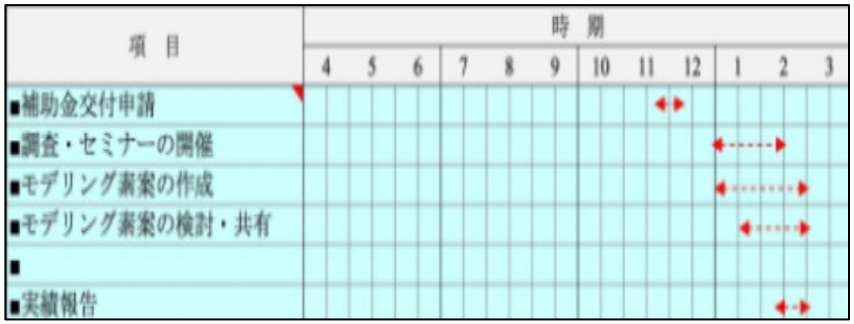
今後の展開

- DXネットワーク、ラストマイル、地域公共交通網との連動等の事業の目標値や具体的なサービス等の項目を検討し、それに関係する先進事例を再度調査し、要点をまとめる。
- 目標や要点に対応したシビックテックを行い、モデリング案を再構築する。
- ラストマイルやアプリ体験等の社会実験を通じて、ビジネスモデルを構築する。

事業実施地域・手順

① DX、地域交通、観光、まちづくり等の関係者が参画するプラットフォームを通じて、地域交通を活用したホッピング型観光の事例調査やセミナーを開催し事業の要点を整理する。

② ①の事業の要点をもとに事業実施地域におけるDXとラストマイル（都心の循環型交通）が融合したホッピング型観光のモデリング素案を検討する。

③ DX、地域交通、観光、まちづくり等の関係者が参画するプラットフォームで、リテラシー向上を兼ねたモデリングの素案検討、意見交換やブラッシュアップを実施し、今後のより良い実証につなげる。

事業スケジュール